

表3 平成13年度 NMCC 共同利用実績

|      | 研究課題 |    | 割当回数 | 利用回数 |     | 利用時間<br>(hr) | 備考      |
|------|------|----|------|------|-----|--------------|---------|
|      | (件)  | 半年 | (回)  | (回)  | 割当外 |              |         |
| PET  | 13   | 2  | 178  | 207  | 35  | 621          | 患者数 233 |
| PIXE | 37   | 9  | 295  | 356  | 132 | 1139         |         |
| 薬剤合成 | 2    | 0  | 4    | 4    | 0   | 12           |         |
| その他  | 5    | 1  | 29   | 26   | 6   | 85           |         |
| 合計   | 57   |    | 506  | 593  |     | 1857         |         |

注) 研究課題件数は、平成12年度より通年利用を受け付けたため(通年+半年)で示す

### 3 JRIA・PET 用ファントムの貸出状況

平成6年度から貸出を開始した JRIA・PET 用ファントムの平成13年度の貸出状況を表4に示す。2週間を1単位としている。

表4 平成13年度 JRIA・PET用ファントム貸出状況

| 貸出期間        | 貸出先              |
|-------------|------------------|
| 8/06 ~ 8/20 | 先端医療振興財団先端医療センター |
| 2/25 ~ 3/08 | 先端医療振興財団先端医療センター |

### 4 セミナーの主催

平成12年度の NMCC 共同利用の研究成果を公表する第8回 NMCC 共同利用研究成果発表会を平成13年5月11日(金)・12日(土)、岩手医科大学歯学部において開催した。発表演題数は PET が10題、PIXE が24題、薬剤合成他が6題であった。また、慶應義塾大学医学部・放射線科学 中村佳代子先生による「核医学診療 - その扱いと放射線防護について - 」と題する特別講演を行った。参加者は合計約90人(マスコミ関係者を含む)であった。

### 5 施設・設備の運転状況

平成元年度からのサイクロトロン稼働時間を表5に示す。共同利用を開始した平成5年度より年間の稼働日数は約200日、稼働時間は約1250時間であり、設備はフル稼働状態が継続している。サイクロトロン稼働時間の8割以上を PIXE 利用が占めている。薬剤毎の PET 検査回数および診療利用部門を表6に示す。<sup>15</sup>O-水の検査が減少したが、<sup>18</sup>F-FDG、<sup>13</sup>N-アンモニア、<sup>11</sup>C-フルマゼニルが増加したため合計では PET 検査件数は増加した。